

統一テーマ 地域共生社会の実現を隣保館から

## 第58回全国隣保館長研修会

### 開催要綱

(オンライン開催)

2021（令和3）年度



全国隣保館連絡協議会

## 1. 趣 旨

- (1) 2016年12月16日に施行された「部落差別の解消の推進に関する法律」を踏まえて、隣保館は同和問題解決の拠点施設であることを再確認するとともに、福祉の向上や人権啓発の住民交流の開かれたコミュニティセンターとしての役割について、共通認識をさらに高める。
- (2) 実践報告では、「あしたの隣保館検討委員会報告書(2007.5)」の5つの視点や、2019年12月26日に地域共生社会推進検討会から出された「最終とりまとめ」に関わるさまざまな事例等について研究討議を深め、隣保館活動をこれからのまちづくりのモデルとして高めていく。
- (3) 取り組みにおけるこれまでの成果と、これからの課題を明らかにするなかで、隣保館として果たすべき役割や、長所を活かすための工夫や方策について、参加者相互による実践交流をさらに深める。
- (4) 「地域共生社会」の実現に向けたさまざまな取り組みが進められることを受けて、本研修会では、その内容について共通理解を深めるとともに、隣保館においても、「地域・人に寄り添う」その第一線機関としてさらに飛躍することをねらいとし、館長・職員並びに隣保事業に関心を持つ関係者の資質とスキルの向上を図ることを目的とする。

## 2. 主 催

全国隣保館連絡協議会

## 3. 後 援

※厚生労働省及び関係府県(依頼予定)

栃木県・茨城県・群馬県・埼玉県・千葉県・新潟県・福井県・神奈川県・長野県・岐阜県・静岡県・愛知県・三重県・滋賀県・京都府・大阪府・兵庫県・奈良県・和歌山県・鳥取県・島根県・岡山県・広島県・山口県・徳島県・愛媛県・高知県・福岡県・佐賀県・熊本県・大分県・鹿児島県

## 4. 開催期日

2021(令和3)年10月19日(火)～20日(水)

## 5. 開催形式【オンライン開催】

今回の研修会は、新型コロナウイルス感染症防止対策として、全日程をオンライン開催とします。(オンライン接続はZoomを使用)



●サポートされているWebブラウザ  
Google Chrome、Firefox、Safari、Microsoft Edge、Internet Explorer、Google Chromeがおすすめです。  
Internet Explorerは予期せぬ不具合が起こる可能性があります。  
Firefox、Safari、EdgeはZoomの一部機能の使用に制限があります。

### (留意事項)

- ・ブラウザは最新バージョンにしてくださいをお勧めしています。バージョンにより不具合やご利用頂けないことがあります。
- ・安定した通信環境が必要となりますので、wi-fiの接続など使用の際には、事前にご確認ください。
- ・研修会当日までに、事前に接続テスト等でチェックを済ませご参加ください。参加側の受信環境のトラブルについては対応できませんので、予めご了承ください。

## 6. 参加対象者

- ・隣保館長(館長が欠席の場合はその代理)
- ・関係府県、市町村職員(隣保館運営委員会委員等の隣保館関係者を含む)
- ・全隣協各ブロック事務局担当者、府県隣協事務局担当者
- ・広域隣保活動事業を実施している府県、市町村関係職員
- ・隣保館と連携する関係者(児童館・教育集会所等の関係施設)
- ・隣保事業士及び隣保事業士資格認定講習を受講しようと考えている方
- ・生活困窮者自立支援制度を活用した取り組みを進める自治体職員、民間団体等職員

## 7. 開催日程と内容 (案)

1日目 (10/19 火)	
※アドバイザーには、関係団体・大学関係者等に入ってもらい、実践報告を踏まえた隣保館への期待、長所や強みを活かした活動のあり方等について、提起・提言をお願いする。	
9:00	<オンライン入室開始>
10:00	<b>① 開会行事 (30分)</b> ・主催挨拶 (全隣協) 7分 ・来賓挨拶 (厚労省・大阪府・大阪市) 各7分 ⇒ オンライン接続 or 祝辞を資料に掲載
10:30	<b>② 基調 (30分)</b> 表題：第58回全国隣保館長研修会「基調」 講師：全隣協役員で調整中
11:00	<休憩> (15分)
11:15	<b>③ 行政説明 (60分)</b> 表題：(仮称)地域共生社会の実現に向けた隣保館の役割 ～重層的支援体制について～ 講師：厚生労働省地域福祉課 (依頼予定)
12:15	<昼休憩> (60分)
13:15	<b>④ 記念講演1 (90分)</b> 表題：コロナ禍における隣保館活動について ～コロナ禍の隣保館における相談に関するアンケート調査結果 (2020年9月) から～ 講師：山本 崇記さん (静岡大学 人文社会科学部 社会学科 准教授)
14:45	<休憩> (15分)
15:00	<b>⑤ 実践報告1 (30分)</b> <b>【相談活動の現状と課題】</b> 表題：コロナにより不安を抱える方への相談支援 報告：和歌山県田辺市立南部センター
15:30	<b>⑥ 実践報告1を踏まえた隣保館への期待や長所を活かした提言 (30分程度)</b> アドバイザー：追手門学院大学 社会学部 准教授 古川隆司さん
16:00	<終了・各自退出>

2日目 (10/20 水)	
※アドバイザーには、関係団体・大学関係者等に入ってもらい、実践報告を踏まえた隣保館への期待、長所や強みを活かした活動のあり方等について、提起・提言をお願いする。	
9:00	<オンライン入室開始>
10:00	<b>⑦ 記念講演2 (90分程度)</b> 表題：(仮称)コロナの収束は差別の解消 講師：松村 元樹さん (公益財団法人 反差別・人権研究所みえ 常務理事)
11:30	<昼休憩> (90分)
13:00	<b>⑧ 実践報告2 (30分程度)</b> <b>【居場所づくりの現状と課題】</b> 表題：子どもたちの合宿による進路保障について 報告：福岡県香春町中央隣保館
13:30	<b>⑨ 実践報告2を踏まえた隣保館への期待や長所を活かした提言 (30分程度)</b> アドバイザー：公財)世界人権問題研究センター 専任研究員 中川理季さん
14:00	<休憩> (15分)
14:15	<b>⑩ 実践報告3 (30分程度)</b> <b>【啓発活動の現状と課題】</b> 表題：コロナの状況における隣保館活動 ～町の人権啓発拠点として～ 報告：福井県高浜町三松センター
14:45	<b>⑪ 実践報告3を踏まえた隣保館への期待や長所を活かした提言 (30分程度)</b> アドバイザー：静岡大学 人文社会科学部 准教授 山本崇記さん
15:15	<b>⑫ 閉会行事</b> ・全体総括 (15分) ・閉会のことば (5分)
15:35	<終了・各自退出>

\*研修会当日の質疑応答は予定しておりません。研修会討議資料を事前送付する時に、「質疑用シート」を同封いたしますので、研修会終了後に「アンケート用紙」と併せてお送りいただきますようお願いいたします。

## 8. 参加申し込み方法

(1) 研修会への参加費は次のとおりです。

○参加資料代 : 1人、3,000円

(2) 申込方法

① 参加希望者は、「第58回全国隣保館長研修会 参加申込書」に必要事項を記入し、9月10日(金)までに所属する「府県隣協事務局」へお申し込みください。また、参加費の納入については、各府県隣協事務局の指示に従ってください。

【府県隣協組織がないところ(オプザーバー施設)、隣保事業士(現任職員は除く)、関係機関・団体等から参加を希望される方については、直接、全隣協事務局へメール(またはFAX)にてお申し込みください】

② 各府県隣協事務局は参加者名簿を取りまとめ、9月17日(金)までに下記「全隣協事務局」へ、メール・FAX等で提出してください。

③ 参加費は、下記口座へ10月1日(金)までにお振り込みください。

振込先	みずほ銀行 難波支店 (店番号470)
	普通預金 口座番号 1384222
	全隣協研修実行委員会 代表 谷 広己

④ 府県隣協・自治体ごとに請求書が必要になる場合は、その旨、参加者名簿「備考欄」に、宛名・請求日・但し書きを記載するようにしてください。請求書の送り先は、府県隣協単位で取りまとめ一括で送付させていただけますと助かりますが、全隣協から直接、参加者宛に個別にお送りすることも可能です。

⑤ 事情があつて取消(キャンセル)をされる場合は、10月18日(月)17時までにご連絡を頂ければ返金いたします。取消(キャンセル)に伴う返金は、研修終了後とさせていただきます。なお、返金時の振込手数料は参加者負担となりますので予めご了承ください。(当日のキャンセルは返金不可)

⑥ 2日間の研修となります。特別な事情がない限り両日の参加を原則とします。

⑦ 上記参加表作成に伴う個人情報、研修会参加者用名簿作成のみに使用し、本研修会以外の目的で使用することはありません。

(3) 参加方法

① ご入金確認後、「研修会」と「Zoom 事前接続テスト」に参加するために必要なZoom用「URL」「ID」「パスコード」を直接、全隣協から参加者宛にメールでお送りいたします。(9/21~10/1)

② Zoomの受講環境を確認するため、事前に接続テストを行います。(10/4~8)

③ 研修会討議資料は、事前に全隣協から各参加者宛にお送りいたします。(10/11~15)

(所属隣保館と異なるところへ送付を希望される場合は、備考欄にその送付先を記載ください。)

④ 1館で複数人が参加する場合、人数分の資料を送ります。(その場合は人数分の資料代を頂きます)

(4) 禁止事項について

以下の事項については禁止します。抵触するような行為があつた場合は、主催者としてしかるべき処置をとります。

① 著作権・肖像権の侵害

配信内容の写真撮影、録音・録画、それらの私的流用・改変、二次利用、SNS等を用いた同時または事後の中継・投稿並びに拡散・無断掲載などの行為。

② 誹謗中傷・名誉毀損

講師など他者への誹謗中傷、名誉毀損にあたる行為。学習会を妨害するような迷惑行為。

③ 配信元URL等の第三者への提供や拡散。

## 9. 各実践報告について

- ①内容は、「実践報告のねらい」に基づき、「現状におけるこれまでの成果」と「今後に向けた課題と方向性」（取り組んでいること、取り組めていないこと等）を必ず明らかにするとともに、「やっています。」「～やりました。」という事業内容の羅列ではなく、館が取り組んだ（関わった）事業に焦点を当てた内容とすること。
- ②また、「隣保館利用者の声」（隣保館の存在で助けられたこと、隣保館に対する要望等）、「隣保館の年間総利用人数」（主催事業・貸館事業）、「取り組みにおいて連携している機関や団体」なども掲載すること。
- ③加えて、隣保館の事業全体を通して得意としていること（特に重点を置いていること、特にPRしておきたいこと、他の施設ではできないこと）について、館職員全員で意見を出し合いまとめるようにしてください。
- ④また、「隣保館利用者の声」（隣保館の存在で助けられたこと等）を掲載すること。
- ⑤発表時間は、概ね30分程度とする。
- ⑥発表原稿は、内容の概略または要旨を【用紙サイズ：A4サイズで4枚程度／文字数と行数：43字×43行／文字大きさ10.5ポイント／文体：「です・ます調」で統一】にまとめ、プリントアウトした原稿とデータを合わせて、**9月10日（金）**までに全隣協事務局へ送付（又はメール送信）すること。（発表館が確定次第、全隣協から直接依頼文をお送りします）

## 10. 表彰行事

隣保館勤続10年以上を対象にした「全隣協永年勤続表彰行事」を実施する予定にしておりましたが、今年度はオンライン開催となるため「表彰行事」を実施せずに、ブロック協や府県隣協を通じて表彰状を送付することにいたします。

### 11. 運営組織

#### (1) 全隣協研修実行委員会

第58回全国隣保館長研修会の開催計画並びに運営・経理・業務・その他に責任を持ち、構成は全隣協常任理事会の構成員をもってこれにあてる。

#### (2) 運営打ち合わせ会議（実践報告関係者）

必要な場合は、実施日程等をあらためてご案内します。実施方法はオンライン（Zoom）を予定。

### 12. その他

本研修会は、隣保事業士資格認定講習を受講する要件となる研修会に該当します。

### 13. 問い合わせ

#### 全国隣保館連絡協議会（中川・中本）

〒542-0012 大阪市中央区谷町7-4-15 大阪府社会福祉会館内  
電話 (06) 6711-0356 FAX (06) 6711-0357  
(E-mail) zenrinkyou@rinpokan.net

※（注意）8月1日から全隣協メールアドレスは上記アドレスに変更しております。  
ご注意ください。（旧メールアドレスにお送りいただいた場合も転送されます）

<実践報告の概要> ※2021年8月1日現在

1	<b>【相談活動の現状と課題】</b> コロナにより不安を抱える方への相談支援		報告概要	新型コロナウイルス感染拡大の影響による失業、それに伴い生活に不安を抱える方からの相談。自治体を越え関係部署と連携を図りながら、相談者に寄り添い支援をおこなった事例について報告する。
	実践報告	和歌山県田辺市立南部センター		
	アドバイザー	古川隆司さん (追手門学院大学 准教授)		
2	<b>【居場所づくりの現状と課題】</b> 子どもたちの合宿による進路保障について		報告概要	合宿研修は、自らが置かれている立場を認識し、部落差別と闘うことによって、差別を見抜き、差別に負けない強い人間の育成を目標とすると同時に、その基礎となる学力を身に着け、進学就職に結びつけるものです。
	実践報告	福岡県香春町中央隣保館		
	アドバイザー	中川理季さん (公益財団法人 世界人権問題研究センター 専任研究員)		
3	<b>【啓発活動の現状と課題】</b> コロナの状況における隣保館活動 ～町の人権啓発拠点として～		報告概要	コロナの状況における隣保館活動として、感染対策を徹底した主催事業の運用、または中止の判断等、その他、館職員自作の対策用品やマニュアルの数々。他方、町の人権啓発拠点としてコロナによる人権侵害防止に向けた様々な啓発活動について報告します。
	実践報告	福井県高浜町三松センター		
	アドバイザー	山本崇記さん (静岡大学 准教授)		

\* 研修会当日の質疑応答は予定しておりません。研修会討議資料を事前送付する時に、「質疑用シート」を同封いたしますので、研修会終了後に「アンケート用紙」と併せてお送りいただきますようお願いいたします。

(様式)

隣保館 → 各府県隣協事務局 申込期限 2021年9月10日(金)

## 第58回全国隣保館長研修会(2021年度)参加申込書

申込担当者 所属			担当者名前	
連絡先	(住所) 〒           —			
	(電話)		(FAX)	
	(E-mail)			
市町村名	所属隣保館名	名 前	備考(請求書への宛名等)	

※ ご記入いただいた個人情報は、学習会運営上の目的以外には使用しません。

※ 人数が足りない場合はコピーの上ご利用ください。